

名池

〔日本書紀垂仁六〕三十五年九月、遣五十瓊敷命于河内國、作高石池、茅渟池。十月、作倭狹城池及迹見。池是歲令諸國多開池溝、數八百之、以農爲事、因是百姓富寬、天下大平也。

〔日本書紀七景行〕五十七年九月、造坂手池、即竹蔭其堤上、

〔日本書紀應神十〕七年九月、高麗人、百濟人、任那人、新羅人、並名池、號韓人池。十一年十月、作劔池、輕池、鹿垣池、旣坂池。

〔後松日記五〕池はいかにも水あさく、心ひろく堀なすべし、水ふかきはすぐしてわろし、ゆたかにみするがよきなり。

〔枕草子 三〕池は

か。つ。ま。た。の。池。い。は。れ。の。い。け。に。え。の。、池。は。つ。せ。に。ま。い。り。し。に。水。鳥。の。隙。な。く。た。ち。さ。は。ぎ。し。が。い。  
と。お。か。し。く。見。え。し。也。水。な。し。の。い。け。あ。や。ゑ。う。な。ど。て。つ。け。け。る。な。ら。ん。と。い。ひ。し。か。ば。五。月。な。ど。す。  
べ。て。雨。い。た。く。ふ。ら。ん。と。す。る。年。は。此。い。け。に。水。と。い。ふ。物。な。く。な。ん。あ。る。又。日。の。い。み。じ。く。照。と。し。は。  
春。の。は。じ。め。に。水。な。ん。お。ほ。く。出。る。と。い。ひ。し。な。り。む。げ。に。なく。か。は。き。て。あ。ら。ば。こ。そ。さ。も。つ。け。め。い。  
づ。る。お。り。も。有。る。な。る。を。一。す。ぢ。に。つ。け。け。る。か。な。と。い。ら。へ。ま。は。し。か。り。し。さ。る。さ。は。の。池。う。ね。め。の  
身。を。な。げ。け。る。を。き。こ。し。め。し。て。行。幸。な。ど。あ。り。け。ん。こ。そ。い。み。じ。う。め。で。た。け。れ。ね。く。た。れ。か。み。を。と。  
人。丸。が。よ。み。け。ん。ほ。ど。い。ふ。も。を。ろ。か。な。り。御。ま。へ。の。池。又。何。の。心。に。つ。け。け。る。な。ら。ん。と。お。か。し。か。ひ。  
み。の。い。け。さ。や。ま。の。池。み。く。り。と。い。ふ。歌。の。お。か。し。く。お。ぼ。ゆ。る。に。や。あ。ら。ん。こ。ひ。ぬ。ま。の。池。は。ら。の。い。  
け。た。ま。も。は。な。か。り。そ。と。い。ひ。け。ん。も。お。か。し。ま。す。だ。の。池。

〔八雲御抄  
名所〕池

ならびのいけ山後撰承香おほさはの同古今在嶽峨ひろさはの同二在嶽峨已いはれのがもも万萬まつうへやすのかくれぬのといへり、まなの宮万まのかるのかも、万萬み、なしの同一万萬ま